

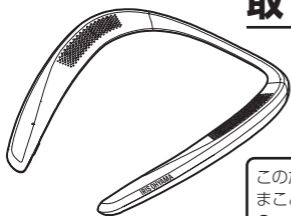
ウェアラブルスピーカー

EA764AS-21 **MKH-150**

(Bluetoothトランスミッター付属)

EA764AS-22 **MKH-150N**

取扱説明書



この商品は海外では
ご使用になれません。
FOR USE
IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読み
になり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」
を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる
方がいつでも見ることができ
るよう大切に保管してください。

ウェアラブルスピーカー仕様

Bluetooth	バージョン	V5.0
	対応プロファイル	HSP / HFP / A2DP / AVRCP
	音声コーデック	aptX [®] 、aptX [®] LL
電池持続時間 (最大)	750時間 (待機時) / 17時間 (通話時) / 13時間 (音楽再生時)	
充電時間	2.5時間以下	
電源 (USB給電)	DC4.75 ~ 5.3V、230mA	
アンテナ電力	3mW	
使用環境	-10℃ ~ 50℃	
寸法	幅179×奥行184×高さ15mm	
質量	約83g	

Bluetoothトランスミッター (MKH-150T) 仕様 (MKH-150に付属)

Bluetooth	バージョン	V4.2
	対応プロファイル	HFP / A2DP / AVRCP
	音声コーデック	aptX [®] 、aptX [®] LL
電源 (USB給電)	DC4.75 ~ 5.3V、200mA	
アンテナ電力	3mW	
使用環境	-10℃ ~ 50℃	
寸法	幅18×奥行67×高さ10.4mm	
質量	約9.5g	

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品及び修理に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0800-919-0770

受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00 / 13:00~17:00

(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を
促す
記号



禁止を
示す
記号



必ず行う
ことを示す
記号



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。

バッテリーについての注意



分解禁止

- バッテリーは、分解・改造・はんだ付けしない
発熱・破裂により、火災やけがの原因になります。



- 火の中に投げ入れたり、加熱したりしない
- 高温になる場所・直射日光の当たる場所で、充電したり、放置したりしない
- バッテリーは、修理技術者以外の方は交換しない
- 指定以外の方法で充電しない
- 本機のバッテリーを他の機器に使用しない
- バッテリーを、高いところから落としたり、投げつけたり、釘をさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない
- バッテリーを水につけない
- 一般ごみと一緒にすてない
発熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

バッテリーについての注意



- 電解液が目に入ったときは、目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗う
目に傷害が発生するおそれがあります。
洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。
- 電解液がもれたり、異臭がするときには、直ちに火気から遠ざける
引火するおそれがあります。
- 電解液がもれたり、異臭がするときには、使用しない
発熱・発火・周囲の汚損の原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には、直ちに使用を中止し、電源を切る

〔異常の例〕

- ・異常な音やにおいがする
- ・本体が熱い、破損している

➔使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 車の運転中に使用しない
音声が安全運転の妨げになります。
また、落下したりすると、ブレーキやアクセルの操作の妨げになります。

- 飛行機の中で使用しない
電波障害により、飛行機の安全に重大な影響を及ぼしたりします。

- 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは、使用しない
医療機器の誤動作の原因になることがあります。

- 屋外で使用しない
- 直射日光の当たる場所で使用しない
- 浴室やシャワーなど、水にぬれる場所で使用しない
火災・感電の原因になります。



- 医療用ペースメーカーを使用している方は、本製品の使用に当たって医師とよく相談する
スピーカーの磁気回路がペースメーカーに影響を与える可能性があります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



分解禁止

- 分解・修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



- 大音量で長時間続けて聴かない
聴力障害の原因になることがあります。



- 音量は徐々に上げる
最初から音量を大きく設定すると、突然大きな音が出て、耳を傷めることがあります。

バッテリーについての注意



- 電解液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐに洗い流す
皮膚炎や衣服の損傷の原因になります。

使用上の注意

- 落としたり、投げたり、衝撃を与えないでください。
- 重いものを上に置かないでください。
破損の原因になります。
- 湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、調理器具の熱気や煙の当たる場所、硫化ガスが充満した場所（温泉地など）では使用しないでください。
故障の原因になります。

● 音のエチケット

- ・ 適度な音量にして、周囲に十分配慮しましょう。
- ・ 特に夜間は小さめの音量でも周囲にはよく通ります。窓を閉めるなどの配慮をしましょう。



● 廃棄について

- ・ 梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。
- ・ 本製品は、小型家電リサイクルの対象商品です。本製品が不要になったときは、お住まいの自治体の取り決めにしたがって、小型家電回収ボックスや資源回収などで処理してください。
- ・ 一般家庭ごみとして捨てないでください。

● 操作したときの応答

ボタン操作したときなど、ランプの点灯・点滅でお知らせする以外に、ウェアラブルスピーカーからの音声でも応答します。

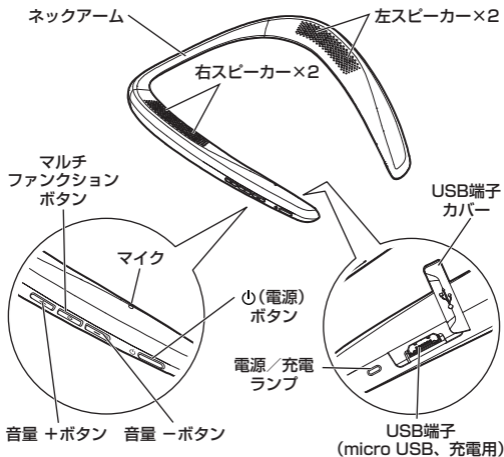
Bluetooth®のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、当社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

Qualcomm® aptX™オーディオは、音のロスを抑えてCD品質の音を提供するBluetooth無線技術です。

Qualcomm® aptX™オーディオはQualcomm Technologies International, Ltdの製品です。

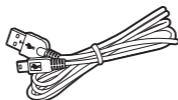
各部の名称

■ウェアラブルスピーカー



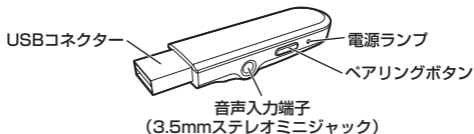
■付属品

充電用micro USBケーブル



■付属品 (MKH-150のみ)

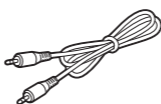
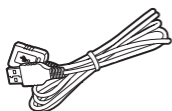
Bluetoothトランスミッター (MKH-150T)



USB延長ケーブル

音声ケーブル (3.5mmステレオミニプラグ)

両面テープ



無線機能使用について

周波数表示の見かた

周波数表示はウェアブルスピーカー、Bluetoothトランスミッターに記載しています。

- ① 2.4 GHz帯を使用
- ② 変調方式としてFH-SS方式を使用
- ③ 電波干渉距離10 m以下
- ④ 2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用



本機の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 本機の無線機能を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の使用を停止したうえ、アイリスコール（表紙記載）にご連絡ください。
- 3 その他、何かお困りのことが起きた時は、アイリスコール（表紙記載）へお問い合わせください。

機器認定について

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- ・分解・改造する
- ・定格銘板を消したり、はがしたりする

他機器からの影響

無線LAN(IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した他の機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ・本機とBluetooth機器を接続するときは、他の無線LAN搭載機器から10m以上離れたところで行う。
- ・10m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

他機器への影響

Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBluetooth機器の電源を切ってください。

- ・病院内・電車内・航空機内・ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- ・自動ドアや火災報知機の近く

使用上の注意

- ・本機は、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、使用環境および設定内容等によってはセキュリティーが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時は注意してください。
- ・ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏洩については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本機と接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- ・本機と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

通信可能範囲

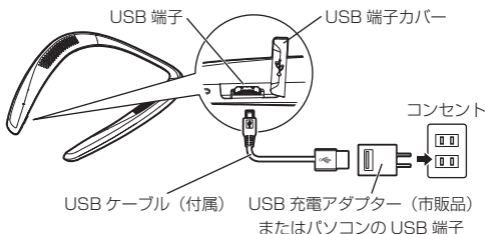
見通し距離 約8m以内で使用してください。

ただし、周囲の環境、建物の構造によっては、通信可能範囲が短くなる場合があります。

- ・Bluetooth接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
- ・無線LANが構築されている場所
- ・使用中の電子レンジの周辺
- ・その他の電磁波が発生している場所

充電

■ウェアラブルスピーカーを充電する



※ 長期間使用しない場合、充電池の劣化を防ぐため、半年に一度は充電してください。

※ 長期間使用しなかった場合、充電時間が長くなる場合があります。

※ 使用時間が極端に短くなったときは、充電池の寿命です。

※ 充電環境によっては、満充電できないことがあります。

1 市販のUSB充電アダプターをコンセントに接続する

・ USB充電アダプターがなくても、パソコンのUSB端子に接続して、パソコンの電源を入れれば、充電することができます。

2 USB端子カバーを開け、付属の充電用microUSBケーブルで、USB端子とUSB充電アダプターを接続する

※ ウェアラブルスピーカーの使用中にUSB端子に充電用microUSBケーブルを接続すると、ウェアラブルスピーカーの電源は切れ、電源/充電ランプは次のように点灯します。

充電状態	電源/充電ランプ
70%未満	赤に点灯
70%以上	紫に点灯
満充電	青く点灯

3 充電が完了したら、充電用microUSBケーブルを抜き、USB端子カバーを閉める

使用中に充電状態を確認するには

・ 音量 +ボタンを1秒間長押しすると、電源/充電ランプが次のように点滅します。

※ 再生中・電話使用中などは確認できません。マルチファンクションボタンを押して、再生や通話を停止してから行ってください。また、他の機器とペアリングする前は、この機能は働きません。

バッテリー残量	電源/充電ランプ
充電必要	赤に3回素早く点滅
通常	紫に3回素早く点滅
十分	青く3回素早く点滅

・ 音声でもお知らせします。

ペアリング

■ウェアラブルスピーカーとBluetooth機器をペアリングする

Bluetooth内蔵のテレビまたは携帯電話などのBluetooth機器と接続する場合は、機器とウェアラブルスピーカーを直接ペアリングしてください。

1 Bluetooth機器の電源を入れ、Bluetooth機能をオンにする

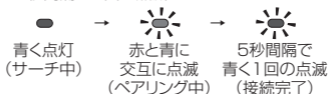
2 ウェアラブルスピーカーの (電源) ボタンを2秒押して、電源を入れる

- 電源/充電ランプが次のように点滅します。



3 Bluetooth機器のBluetooth接続画面でMKH-150を選ぶ

- ペアリング中は電源/充電ランプが、赤と青に交互に点滅し、接続されると5秒間隔で1回の点滅になります。

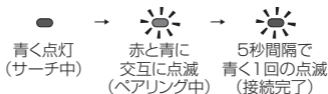


- Bluetooth機器での確認方法は、それぞれの機器の説明書をご覧ください。

ペアリングできないときは (サーチモードにならないとき)

- ウェアラブルスピーカーの音量 + ボタンと音量 - ボタンを、同時に2秒押してください。

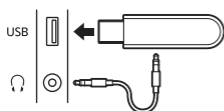
強制的にサーチモードになり、ペアリング中は電源/充電ランプが、赤と青に交互に点滅し、接続されると5秒間隔で1回の点滅になります。



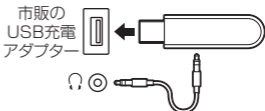
■Bluetoothトランスミッターを使用する (MKH-150に付属)

Bluetoothを内蔵していない機器の音声をウェアラブルスピーカーで再生するには、付属のBluetoothトランスミッターを機器に接続して、ウェアラブルスピーカーとBluetoothトランスミッターをペアリングしてください。

テレビと接続する場合



USB端子のない機器と接続する場合



1 BluetoothトランスミッターのUSB端子を、機器のUSB端子に接続する

- Bluetoothトランスミッターの電源供給用です。USB端子がない機器などは、市販のUSB充電アダプターなどを使用してください。
- 必要に応じて、付属のUSB延長ケーブルを使用したり、付属の両面テープでテレビの背面などにトランスミッターを貼り付けることができます。

2 Bluetoothトランスミッターの音声入力端子と、テレビ・ラジカセの音声出力端子を、付属の音声ケーブルで接続する

- ヘッドホン端子にケーブルを接続すると、テレビ・ラジカセからの音声は出なくなります。テレビによっては、ウェアラブルスピーカーとテレビ両方から音声を出力できるものもあります。

パソコンと接続する場合は



- BluetoothトランスミッターのUSB端子を、パソコンのUSB端子に接続してください。音声ケーブルの接続は不要です。

ウェアラブルスピーカーと付属のBluetoothトランスミッターをペアリングする

1 Bluetoothトランスミッターを接続している機器（テレビなど）の電源を入れる

- Bluetoothトランスミッターの電源ランプが次のように点滅します。

初めてペアリングする場合	5秒間隔で3回素早く点滅
ペアリング済みの場合	5秒間隔で2回素早く点滅

2 Bluetoothトランスミッターのペアリングボタンを3秒押す

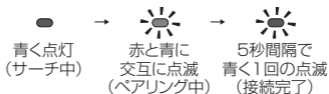
- Bluetoothトランスミッターのペアリングランプが速い点滅を始めます。

3 ウェアラブルスピーカーの （電源）ボタンを2秒押して、電源を入れる

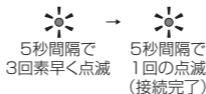
- 電源／充電ランプが次のように点滅します。



- ペアリング中は電源／充電ランプが、赤と青に交互に点滅し、ペアリングされると5秒間隔で1回の点滅になります。



- Bluetoothトランスミッターの電源ランプ（青）は、ペアリングされると、5秒間隔で1回の点滅になります。



- 次に電源を入れたときは、自動的に再接続します。
- パソコンとBluetoothトランスミッターを接続したときは、パソコンのオーディオデバイスの設定で、MKH-150Tを選んでください。

ペアリングできないときは（サーチモードにならないとき）

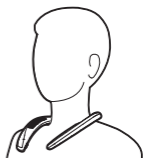
- ウェアラブルスピーカーの音量 + ボタンと音量 - ボタンを、同時に2秒押してください。強制的にサーチモードになり、ペアリング中は電源／充電ランプが、赤と青に交互に点滅し、接続されると5秒間隔で1回の点滅になります。

音声を再生する

- Bluetooth機器またはBluetoothトランスミッターを接続した機器の電源を入れる
- ウェアラブルスピーカーの **⏻**(電源) ボタンを押して、電源を入れる
 - ペアリングされた機器に自動的に通信接続されます。
 - ウェアラブルスピーカーの電源/充電ランプが、5秒間隔で青く1回の点滅になります。
- Bluetooth機器を再生する
 - テレビの場合には、接続されるとすぐに音が出ます。
- ウェアラブルスピーカーの音量 **+/-** ボタンで音量を調節する

首にかけて使用してください。

- ネックアームは柔らかいバネになっており、首にかけるときは、左右に引っ張って広げることができます。



使い終わったら

- ウェアラブルスピーカーの **⏻**(電源) ボタンを2秒押して、電源を切る
 - 電源/充電ランプが消灯します。







■再生中のボタン操作

- Bluetooth機器と接続して視聴中は、ウェアラブルスピーカーのボタンで簡単な機器の操作ができます。

再生/ 一時停止		マルチファンクションボタンを押します。
音量大きく		音量 + ボタンを一度押すごとに、音量が1段ずつ上がり/下がります。
音量小さく		音量 - ボタンを一度押すごとに、音量が1段ずつ上がり/下がります。
次の曲に スキップ	 1秒押す	再生中に音量 + ボタンを1秒押すと、次の曲にスキップします。
前の曲に スキップ	 1秒押す	再生中に音量 - ボタンを1秒押すと、前の曲にスキップします。
サウンド バイプレー ション	 同時に1秒押す	マルチファンクションボタンと音量 - ボタンを同時に1秒押すと、サウンドバイプレーションの入/切ができます。 サウンドバイプレーションを入にすると、低音の再生に合わせて、振動を体に伝えます。
ボイス コントロール	 1秒押す	マルチファンクションボタンを1秒押すと、ボイスコントロールの入/切ができます。 ※ 接続している機器がボイスコントロール機能を備えている場合

■電話の操作

- ・スマートフォンなどと接続中は、電話の操作ができます。

電話に出る 電話を切る		マルチファンクションボタンで、着信した電話に出たり、電話を切ったりできます。
音声出力切換	 2秒押す	音量 + ボタンを2秒押すたびに、電話の音声、ウェアラブルスピーカーから出るか、接続しているスマートフォンから出るかを切り換えることができます。
割り込み通話 応答*	 1秒押す	割り込み通話の着信があったときに、マルチファンクションボタンを1秒押すと、かかってきた割り込み通話に応答することができます。
通話拒否	 2秒押す	着信があったときに、マルチファンクションボタンを2秒押すと、かかってきた通話に応答しないで切ることができます。
通話相手先 切換*	 1秒押す	割り込み通話中に、マルチファンクションボタンを1秒押すと、通話の相手先を切り換えることができます。
消音	 2秒押す	音量 - ボタンを2秒押すと、通話の音声を消すことができます。

※ 割り込み通話が設定されている電話機のみ



■マイク・スピーカーの操作

(MKH-150に付属のBluetoothトランスミッター使用)

- ・パソコンなどにBluetoothトランスミッターを接続して、ウェアラブルスピーカーとBluetooth接続すると、ウェアラブルスピーカーのボタンで、マイクとスピーカーの入/切を操作できます。

※ パソコンにより、できる操作は異なる場合があります。

※ 電源を入れたときは、最初はマイクは切になります。

マイク 入/切	 1秒押す	マルチファンクションボタンを1秒押すと、ウェアラブルスピーカーのマイクを入/切できます。
マイク・ スピーカー 入/切		マイクが入になっているときに、マルチファンクションボタンを押すと、マイクとスピーカーを同時に入/切します。

※ マイクを入/切したときは、スピーカーの音量は自動的に初期設定の音量になります。

■電源を切るには

⏻ (電源) ボタンを2秒押す

- ・ウェアラブルスピーカーの電源を切ると、電源/充電ランプは消灯します。Bluetoothトランスミッターは未接続になって、5秒間隔で2回素早く点滅になります。
- ・次のような場合は、ウェアラブルスピーカーは未接続になって、電源/充電ランプが青い点灯になり(サーチ中)、3分経つと電源が切れます。

Bluetooth機器またはBluetoothトランスミッターを接続している機器の電源を切ったとき・電波が届かないとき

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状態	考えられる原因	処置
電源が入らない	● バッテリー残量がない	● USB端子にUSBケーブルで充電アダプターを接続して、充電してください。(→P7)
電源が切れた	● バッテリー残量がなくなった ● ペ어링できずに3分経過した	
音が出ない	● 接続した機器(テレビなど)から音声が出力されていない。	● 機器を再生し、接続した端子から信号が出力されるように設定を行ってください。(出力ポートの設定・音量の設定・消音の解除など)
	● Bluetooth機器(付属のBluetoothトランスミッターを含む)と正しくペアリングされていない	● ペ어링をやり直してください。(→P8、9)
音量が小さい	● 音量が小さく設定されている	● 音量 + / - ボタンで音量を調節してください。
	● 接続した機器(テレビなど)の音量が小さい	● 接続した機器(テレビなど)の音量を調節してください。特にテレビの音声出力端子に接続した場合は、音量の設定が、テレビ本体の音量とは別にある場合があります。
接続しようとする機器のBluetooth設定画面でウェアラブルスピーカーが見つからない	● ウェアラブルスピーカーがサーチモードになっていない	● 音量 + ボタンと音量 - ボタンを、同時に2秒間長押しして、サーチモードにしてください。(→P8、9)
	● Bluetooth機器が離れすぎている	● Bluetooth機器から約8m以内の障害物のない位置で使用してください。
	● 別な機器に接続されている	● 別の機器との接続を解除し、再度ペアリングしてください。
音が途切れる	● 接続しているBluetooth機器でアプリなどが多数動作している	● 動作しているアプリなどを少なくしてください。
	● 電子レンジ、Wi-Fi機器などのそばで使用している	● 電子レンジ、Wi-Fi機器など高周波機器から離れて使用してください。

それでも解決できないときは
お買い上げの販売店、または
アイリスコールへお問い合わせ
してください。



警告

● 自分で分解・修理・改造しないでください。